

理事長・学校長殿

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
理事長 福田 益和

公印省略

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
平成25年度 文部科学省教育研修活動費補助事業（指導教員研修）

『【中堅教員研修】専修学校教員のキャリアデザインワークショップ
～これからの専修学校を担う自立型教員育成研修～』

開催のご案内

向暑の候、校務ますますご繁忙のことと拝察申し上げます。

さて、一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（旧・財団法人専修学校教育振興会）では、専修学校制度発足以来、独自のカリキュラムに基づき「新任教員研修」を実施し、専修学校における新任教員の資質向上に努めております。

さらに本財団では、昨年度より、文部科学省の教育研修活動費補助事業の一環として、**「中堅教員研修カリキュラム」の研究・開発**に取り組んでおります。

この中堅教員研修カリキュラムは、専修学校の中堅教員として働くことの意義に自ら気づき、働く意味を十分に理解した上で、更なる継続的な教育活動に関わること、また、自らの進むべき方向に沿った意識の涵養やスキルアップを図り、各校での中核的・専門的な役割を担うための能力を育成することを目的としたものです（カリキュラムの考え方及び構成に関しましては、6頁以降をご参照ください）。

当該カリキュラムの根幹をなす科目と位置付ける『専修学校教員のキャリアデザインワークショップ～これからの専修学校を担う自立型教員育成研修～』につきまして、昨年度は実証講習会を行いましたが、その検証結果を踏まえ、今年度は正式なプログラムとして研修会を開催いたします。

来る8月26日（月）～28日（水）の3日間にわたり、計24時間の研修プログラムとして実施いたします。詳細は実施要項をご参照いただき、是非、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

参加を希望される方は、最終頁の受講申込書に必要事項をご記入の上、8月9日（金）までに下記へファクシミリにてお申し込みください。

なお、『中堅教員研修』について、今年度は上記正式研修以外に3科目の実証講習会を行います。8月1日～2日に『体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）』の開催が決定しました（同封の開催案内をご参照ください）。

また、10～11月頃に『新任指導力（組織コーチング、メンタリング）』及び『リスクマネジメント（クレーム対応）』を予定しております（詳細が決まり次第、改めてご案内させていただきます）。

[お問い合わせ・お申し込み先]

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団<略称：TCE財団>
(Association for Technical and Career Education)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館

TEL：03(3230)4814 FAX：03(3230)2688

平成25年度中堅教員研修『専修学校教員のキャリアデザインワークショップ』実施要項

〔※実施要項、タイムテーブル等に変更が生じた場合は、本財団ホームページ上でお知らせいたします。〕

〔1. 主催〕

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）

〔2. 科目名〕

『専修学校教員のキャリアデザインワークショップ』

～これからの専修学校を担う自立型教員育成研修～』

〔3. 内容・目的等〕

①専修学校教員として、将来的には、いくつかのキャリアパスがあると考えられます。例えば、

- (1) 教科指導やクラス運営等を経験する中で、更に教育指導力を高め、学科として行う職業教育全般を企画運営する。
- (2) 学校運営全体のマネジメントを行う。
- (3) 教員専門職としての進路を目指す。

などです。これらの教員自らの進路について、講義とともに、個人ワークやグループワーク等を通じて自立的な将来設計を行い、キャリアビジョンに基づくアクションプランニングを行います。

②学生を自立的な人材として育てる上で、教員自らが主体的なキャリア観のある職業人＝専修学校教員として、自覚ある働き方をするために必要なプログラムです。中堅教員が、将来にわたり、在籍する専修学校にとってなくてはならない「人財」となるために、ぜひ受講していただきたい研修です。

③なお、受講申込をされた方には、事前課題として、ワークシートを2種類（「ビジネス能力シート」と「ジョブカード」）をメールでお送りいたします。開講前までに各ワークシートにご記入の上、研修会当日お持ちいただくことが必要となりますので、予めご了承の上、お申込みください。

〔4. 日時〕

○1日目 平成25年8月26日（月）13：00～21：00（8時間）

○2日目 // 8月27日（火）8：40～19：10（9.5時間）

○3日目 // 8月28日（水）8：40～16：10（6.5時間）

※3日間計24時間のプログラムです。

※2・3日目の12：00～13：00は昼休みです。昼食は研修会場内で用意いたします。

〔5. 会場〕

日本電子専門学校

東京都新宿区百人町1-25-4 (<http://www.jec.ac.jp/access/>)

〔6. 対象〕

専修学校の中堅教員（目安：勤続5年程度以上）

〔7. 定員〕

36名

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

※満席時には、本財団ホームページ上でお知らせいたします。

〔8. 申込方法〕

最終頁の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

⇒FAX送信先：03 (3230) 2688

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団） 事務局 総務課宛

〔9. 申込期日〕

平成25年8月9日（金）

〔10. 受講料〕

◆TCE財団の各都道府県支部の会員校…1名 38,000円

◆上記以外…1名 68,000円

※ 「TCE財団の各都道府県支部」は同封の別表一覧のとおりです。

（同封の別表は、本財団ホームページに掲載の定款施行細則においてもご確認いただけます。）

※ 1日目の夕食代（立食形式の情報交換会参加費）、2・3日目の昼食代を含みます。

※ 交通費・宿泊費は含みませんので、各自でご手配ください。（会場近くの宿泊先につきまして、情報が必要な場合は、事務局までお問い合わせください。宿泊先候補のご紹介をさせていただきます。）

※ お申込みと同時に下記口座にお振込みください。研修会当日の現金の受け渡しはご容赦ください。

※ 受講料の返金はいたしかねます。ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願いします。

みずほ銀行 九段支店（普通）2386904 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

（振込手数料は貴校にてご負担ください）

〔11. 修了基準〕

次の①～③の要件を全て満たす方につきましては、本財団より「修了証」を発行いたします。

①3日間計24時間のプログラムを全て受講する。

②研修内で作成する「キャリア開発シート」を完成し、自己のキャリアビジョンを明確に表現できている。

③さらに、そのビジョン達成に向けて、具体的なアクションプランが書けている。

※なお、本財団では、中堅教員研修カリキュラム全科目の研究・開発完了後、平成27年度より、「中堅教員研修」としての全科目の正式実施、修了認定を予定しています。特に、中堅教員認定に関しては、“研修修了時間に応じたポイント制”の採用を予定しています。今回の研修につきましても、中堅教員認定の対象となる研修時間に含めさせていただきます。

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）

平成25年度 中堅教員研修 タイムテーブル

- ◆科目名：『専修学校教員のキャリアデザインワークショップ
～これからの専修学校を担う自立型教員育成研修～』
- ◆講師：TCE財団 中堅教員研修カリキュラム研究委員会
委員長 岡村慎一氏（専門学校YICグループ統括本部 統括本部長）
委員 道幸俊也氏（有限会社Office C&M 代表取締役／関東学院大学法学部 助教）
- ◆開催日：平成25年8月26日（月）13：00～21：00（8時間）
// 8月27日（火） 8：40～19：10（9.5時間）
// 8月28日（水） 8：40～16：10（6.5時間） 計24時間
※2・3日目の12：00～13：00は昼休みです。
※昼食は研修会場内で用意いたします。
- ◆会場：日本電子専門学校

予定時間	予定内容
(初日) 12：45 13：00	受付 初日開講 “講義＋個人ワーク＋グループワーク＋振り返り”の流れで進行します。 ○「キャリア開発とは？」（これから専修学校教員としてどうありたいか？） ○「キャリア開発の方法とは？」 ○「自己理解とこれまでの棚卸」
19：00 21：00	情報交換会 初日終了
(2日目) 8：40	2日目再開 ○「自律（自立）とは？」 ○「当事者意識について」（経営側の立場を認識するとは？） ○「環境分析」（学内・学外から何を求められているか？）
19：10	2日目終了
(3日目) 8：40	3日目再開 ○「キャリア開発シート」の作成 ○今後のキャリアビジョンと具体的なアクションプランの考察・発表 アンケート
16：10	閉会

※事情により変更となる場合があります。

※研修会の記録として、3日間にわたり研修風景のビデオ撮影を行います。撮影した映像を報告資料等として使用する場合は、個人が特定されないように編集させていただきますので、ご了承の程お願いいたします。

「中堅教員研修カリキュラム実証講習会」(H24年12月3日～4日開催)受講者アンケート

～この研修で収穫になったこと～

☆昨年度の実証講習会に参加された方々の感想を一部抜粋して紹介させていただきます。

◇全く違う環境で働か
れている専門学校
の教員が共通の
問題意識を持っ
ていることや、
職場環境が全く
違うことがわか
ったこと。

◇自分自身のライフ
チャートを分析す
ることによって、
自分自身の正の
時と負の時の傾
向がよく分った
こと。

◇とてもいいグル
ープのメンバー
に恵まれたこと。
他の方の意見を
聞いてとても勉
強になったし、
自分のキャリア・
価値観の振り返
りにより、自分
の考え・行動パ
ターンが明確に
なった。

◇職員に対して当
事者意識を持た
せようとした。被
害者意識の職員
が多いため。

◇普段学生に伝え
ていることが、自
分の中で言葉で
はなく実際に経
験できたことが
非常に大きい
です。

◇専門学校の職員
同士のつながり
、接点は本当に
大切だと思います。

◇仕事人生の振り
返りでのライフ
ラインチャート
作成によって、
その時の自分
の気持ちや、な
ぜそうなったの
か要因の一つを
見つけることが
できた。

◇フィードバック
の重要性。“こ
れまで”があり
“これから”を
具体的に計画し
ていくこと。中
堅社員を意識し
ました。自校に
戻り、水平展開
します。

◇自分のキャリア
についてじっくり
考える機会があ
りませんでした
ので、自分の今
後について考え
るきっかけとな
りました。

◇価値観の違い
(同じような職
歴でも、目指す
キャリアが違え
ば考えも違う。)

◇[意識][意欲]⇒
今までは上司か
ら仕事を頂いた
時に、ただ完遂
する事だけを考
えていましたが
、今後は、業務
内容をしっかり
考え、自分の物
にしていきたい
。

平成24年度実証講習会
都道府県別参加人数:

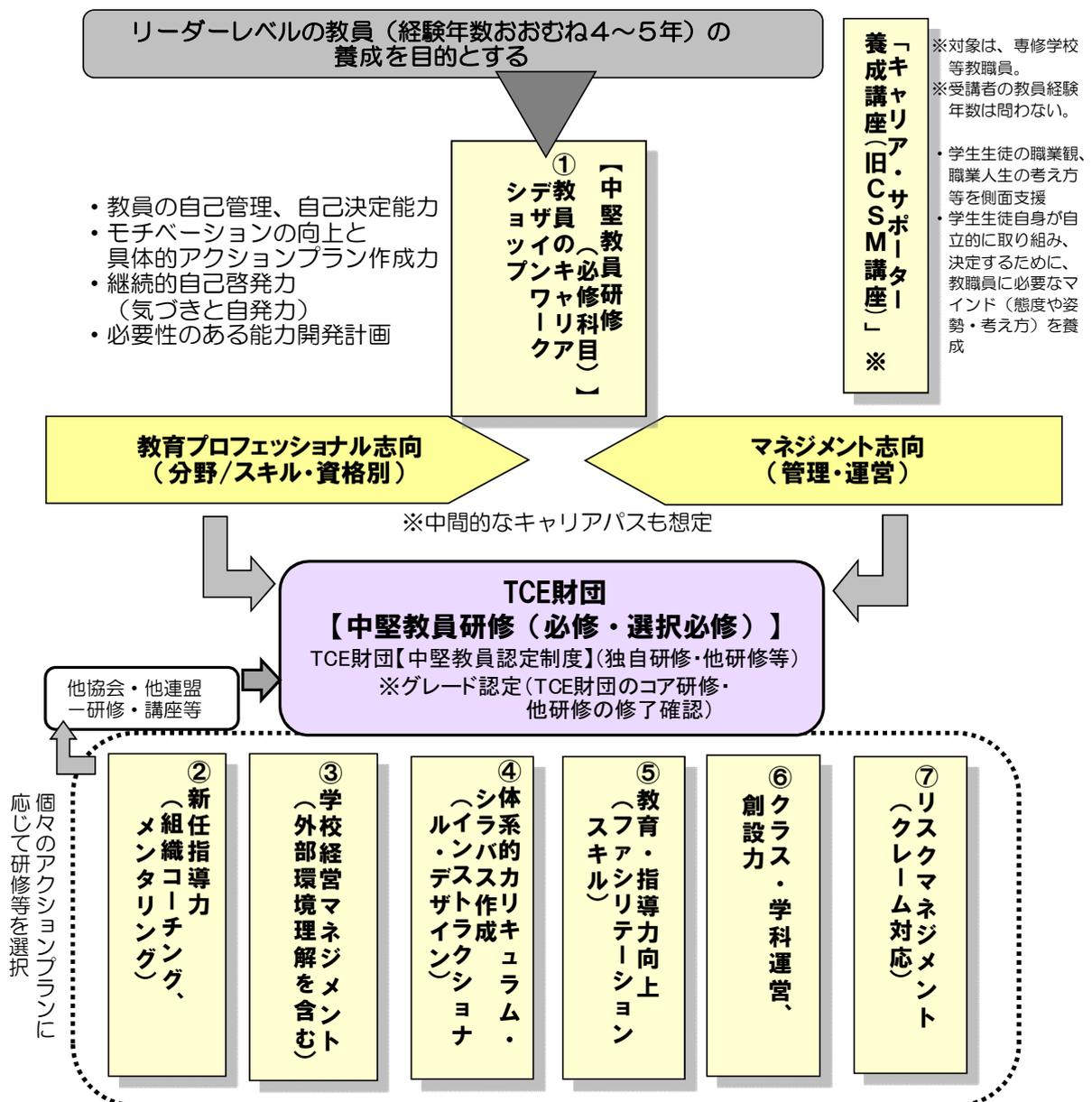
山形県1名、千葉県1名、
東京都3名、長野県2名、
岐阜県1名、愛知県1名、
京都府1名、岡山県2名、
山口県1名、福岡県1名、
長崎県2名、熊本県1名、
宮崎県1名、沖縄県2名

中堅教員研修 カリキュラムの内容

※本財団の平成24年度「専修学校中堅教員研修カリキュラムの開発に関する研究」報告書(平成25年3月発行)より抜粋。本報告書 PDF 版を本財団ホームページの「ダウンロードセンター」に掲載しております。

1. 考え方と構成

- (1) 中堅教員研修は、「①教員のキャリアデザインワークショップ(必修科目)」をベースとして、キャリアビジョン及び自ら作成するアクションプランに基づくコアとなる研修科目②～⑦(必修=②・選択必修=③～⑦)を用意。
- (2) 将来、(1)以外の他の団体・組織主催の研修を含め、各教員のキャリア・就業年数等に応じた研修の受講(継続的能力開発)を奨励し、修了した研修をもって中堅教員のグレードの認定を実施。



2. 科目一覧 (案)

	科目名	時間	・＜キャリアパス＞ ・研修の概要と目標
①	教員のキャリアデザインワークショップ	24	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞ 専修学校教員として、教科指導やクラス運営等を経験する中で、更に教育指導力を高め、学科として行う職業教育全般の企画運営や学校運営全体のマネジメントを行う方向に進むか、或いは教育専門職としての進路を目指すか等の教員自らのキャリアパスについて、自立的な将来設計を行い、計画に基づくアクションプランニングを行う。また、本科目修了後に受講する他の中堅教員研修科目をどう選択していくかを行動目標に盛り込むようにする。
②	新任指導力(組織コーチング、メンタリング)	8	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞ 新任指導能力「新任教職員の指導・育成力を高める」ことを目標とする。新任教職員に求められる能力を自分が実践でき、そのことを前提として、新任教職員の人材育成に関して適切な指導助言ができる。 具体的には、「管理力/職務執行者としての実践力」「新任指導育成のための目標管理力/新任の能力を引き出すための組織コーチング力、メンタリング力」「管理監督者として必要なマネジメント力」等の能力について力をつけることができる。
③	学校経営マネジメント(外部環境理解を含む)	12	＜キャリアパス：マネジメント志向＞ 専修学校は、そのほとんどが設置主体は学校法人であり、主たる収入は、学生生徒等納付金収入によるところが多い。また我が国の経済の長期低迷動向を受けて実学志向、また資格志向により、専門職業人育成の社会的要請は高く、また、大学等の学校種間・学校間競争は今なお増加しつつある。その中で各種統計データを待つまでもなく、2018年度以降さらなる18歳人口が減少するという厳しい環境がある。この状況下で、中堅教員がいかに学校経営に参画するのかが、今大きく問われている。さらにコンプライアンスや内部統制組織の充実の要請、自己点検評価の実質化、学校関係者評価・第三者評価等、学内外の経営にかかる諸問題について対応力を高め、中堅教員としてふさわしい経営感覚と問題解決能力を身に付け実践能力を高めることの重要性が叫ばれて久しい。本科目を受講することにより、学校経営の概観を把握でき、優れた「経営感覚」が身につくようになるだろう。
④	体系的カリキュラム・シラバス作成(インストラクショナル・デザイン)	8	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向＞ より学生に分かりやすく効率的に学べるカリキュラム・シラバスを作成する手法としてインストラクショナル・デザイン(ID)がある。このIDとは何かを学び、これを用いてカリキュラム・シラバスを設計・開発できるようになるのが本科目の目標である。
⑤	教育・指導力向上(ファシリテーションスキル)	8	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向＞ ファシリテーションは、「容易にする」「円滑にする」「スムーズに運ばせる」という原意が示すとおり、問題解決や合意形成を促進する技術としてアメリカから紹介された。主に体験学習やワークショップなどのグループ活動に適用する手法であり、話し合いを促進する、メンバーの相乗効果を発揮する、自律性を育むなどの効果が期待できる。その応用範囲は多岐に渡るが、教育現場の適用事例も数多く報告されている。 本研修は、教育現場への適用を想定し、ファーストステップとして概論としての意義づけ、セカンドステップとして実践スキルの習得を目指す。 「①ファシリテーションによる授業の活性化について、ファシリテーションを導入する理由、その方法・効果を説明できること」「②ファシリテーターに必要な知識・スキル・マインドを説明できること」「③上記①②の講義、実践で得た知識・スキルを活用して、授業の中で取り入れ効果を測ること」を目標として実施する。
⑥	クラス・学科運営、創設力	4	＜キャリアパス：教育プロフェッショナル志向、マネジメント志向＞ これまでの教科担当、クラス指導の経験を振り返り、自分の強みと弱みを再確認し、今後学校の中核として業務を遂行できる人材になることを目標とする。 そのために学生に対する「全体指導」「個別指導」の手法を棚卸しして、学生への効果的な動機付けの手法や、所属する学科の運営方法を学ぶ。 さらに、新学科創設のための基本的な手順、手法を身に付ける。
⑦	リスクマネジメント(クレーム対応)	4	＜キャリアパス：マネジメント志向＞ 中堅教員として、リスクマネジメントに関わることは、学校経営の根本的な問題のみならず、日々の運営の中で諸問題に適切に対応し、解決を図る上で強く要請されている。また、クレーム対応には、原理・原則があり、それを踏まえて行動すれば難しいものではない(その中でも最も重要なのは「顧客(学生・ステークホルダー)の心情を理解してふるまう」ことである)。 本科目の受講者は、クレームの基本概念を理解し、過去の代表的な事例からクレーム対応の手順や留意点を知る事で、専修学校におけるクレームの諸問題に対応力を高め、中堅教員としてふさわしい問題解決能力を身に付けられることを目標とする。 また、組織によるクレーム対応についても学ぶことにより、自組織のCS(顧客満足度)改善計画や企画策定など、リスクマネジメントについての理解を深めることも目標とする。
	計	68	

平成 年 月 日

平成 25 年度 中堅教員研修「専修学校教員のキャリアデザインワークショップ」受講申込書

<申込期限：8月9日(金)>

都道府県名 _____

学 校 名 _____

ふりがな
受講申込者 氏 名 _____

部署・役職名等 _____

性別： _____ / 年齢： _____ 歳 / 専修学校教員勤続年数： _____ 年 月
※勤続年数は「常勤・非常勤」又は「専任・兼任」の期間の通算をご記入下さい。

企業・施設等での実務経験年数： _____ 年 月
※実務経験年数は教員採用後の短期的な実務研修期間も合算してご記入下さい。

e-mail _____ @ _____

学校電話番号 _____ — _____

受 講 料 () 1 名 38,000円…TCE財団の都道府県支部の会員校

() 1 名 68,000円…上記以外

※↑どちらか該当されるほうに○印をお書きください。

※受講料はお申込みの学校名にてお振込ください。

法人名にてお振込の場合は、下記に法人名をご記入ください。

(学校法人名： _____)

振込予定日 平成 年 月 日

ご利用銀行 _____ 銀行 _____ 本・支店より
(振込手数料は貴校にてご負担ください)

※本財団主催の他の研修会受講料との同時送金予定について

本財団が本年度に開催する他の研修会の受講料と合計してご送金いただく場合は、研修会名と送金予定受講料をお知らせください。

研修会名 (_____) _____ 名分 _____ 円

※ご提供いただいた個人情報は、研修開催前後の事務連絡、研修時のグループ分けの為に利用させていただきます。

※講師・受講者・事務局・オブザーバーに配布する「受講者名簿」に都道府県名・氏名・学校名のみ掲載させていただきますので、ご了承ください。

【お申込先】(送付状は不要です。本紙のみお送りください。)

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 事務局 総務課

FAX : 03 (3230) 2688

別表一覧 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）の支部

都道府県名	名 称
北 海 道	公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会
青 森	青森県専修学校各種学校連合会
岩 手	一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会
宮 城	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会
秋 田	秋田県専修学校各種学校協会
山 形	一般社団法人山形県専修学校各種学校協会
福 島	(社) 福島県専修学校各種学校連合会
茨 城	(社) 茨城県専修学校各種学校連合会
栃 木	一般社団法人栃木県専修学校各種学校連合会
群 馬	一般社団法人群馬県専修学校各種学校連合会
埼 玉	一般社団法人埼玉県専修学校各種学校協会
千 葉	(社) 千葉県専修学校各種学校協会
東 京	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会
神 奈 川	一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会
新 潟	一般社団法人新潟県専修学校各種学校協会
富 山	一般社団法人富山県専修学校各種学校連合会
石 川	一般社団法人石川県専修学校各種学校連合会
福 井	一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会
山 梨	(社) 山梨県専修学校各種学校協会
長 野	一般社団法人長野県専修学校各種学校連合会
岐 阜	岐阜県専修学校各種学校連合会
静 岡	公益社団法人静岡県職業教育振興会
愛 知	一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会
三 重	三重県専修学校各種学校連合会
滋 賀	滋賀県専修学校各種学校連合会
京 都	一般社団法人京都府専修学校各種学校協会
大 阪	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会
兵 庫	(社) 兵庫県専修学校各種学校連合会
奈 良	奈良県私学専修学校連合会
和 歌 山	(社) 和歌山県専修学校各種学校協会
鳥 取	一般社団法人鳥取県私立学校協会専修学校各種学校部会
島 根	一般社団法人島根県専修・各種学校連盟
岡 山	(社) 岡山県専修学校各種学校振興会
広 島	公益社団法人広島県専修学校各種学校連盟
山 口	一般社団法人山口県専修学校各種学校協会
徳 島	一般社団法人徳島県専修学校各種学校連合会
香 川	一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会
愛 媛	一般社団法人愛媛県専修学校各種学校連合会
高 知	一般社団法人高知県専修学校各種学校連合会
福 岡	一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会
佐 賀	佐賀県専修学校各種学校連合会
長 崎	(社) 長崎県専修学校各種学校連合会
熊 本	一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会
大 分	(社) 大分県専修学校各種学校連合会
宮 崎	一般社団法人宮崎県専修学校各種学校連合会
鹿 児 島	一般社団法人鹿児島県専修学校各種学校協会
沖 縄	一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会